

第2分科会レポート

城下町大聖寺の景観まちづくり

～失敗にめげない活動報告～

【趣旨】

“口だす 汗だす 金も出す”を合言葉に真剣に景観町づくり活動をしている4名の楽しい苦労話が参加者のこれからの行動指針となるものと思う。

分科会の前半は、バスで新川住宅、実性院・全昌寺を見学。大聖寺川流し舟に乗り、長流亭、時鐘堂、大聖寺町屋など名所を巡った



【ゲスト】

■野田 惣八（山の下寺院群景観専門員）

NHK「クローズアップ現代」に紹介された「大聖寺山の下寺院群」の景観審査風景が思い出される。歴史的景観整備の草分け的専門員である。

■宮 長二郎（大聖寺川下りの会代表）

二度と返らない30万円を持ち寄って始めた「屋形船運航」を起動に乗せ、年間乗船3,000人を数えるに至った功績は、他の追随を許さないところである。

■眞田 茂樹（大聖寺活性化会議）

残り少ない大聖寺の町屋を大切に保存活用するために、御縁を頼りに一人ひとり説得し、通りや町屋に合った事業を紹介して、大聖寺の活性化に一役かっている。

■畑島 和美（大聖寺ボランティアガイドクラブ代表）

誰も知らない大聖寺に観光客が訪れるようになってきたのは何と言っても「ボランティアガイドのお陰であり、頭が下がる」。

【コーディネーター】

■篠原 隆一（加賀市文化財レスキュー隊）

NPO活動の当初から参加し、どんな場所に立たされても物怖じしない精神力の持ち主で、NPOの中心人物として活躍している。

協力団体●NPO法人 歴町センター大聖寺 <http://po5.nsk.ne.jp/~shiseki/>

会場●深田久弥 山の文化館（加賀市大聖寺番場町18-2）

参加者●18名

1. 分科会内容（要約）

（1）「山の下寺院群景観整備」

住民自らの手で歴史的景観整備基準を作成し、地権者への説明・説得・監視・検査まで行った事例経過と結果を失敗談も含めて報告。

（2）「大聖寺町屋再生」真田茂樹

市の町屋再生室が歴史的な町並みの保存と修復に取り組み、14例の再生町屋の事例を紹介。

（3）「大聖寺のお宝を歩いて」畑島和美

「住んで良い町・訪れて良い町」を合言葉に、初めは観光客がいないところから大聖寺を知る学習会を起ち上げる。大聖寺のお宝を再発見し、もう一度訪れたいと思われるようなガイドを楽しみながら続けている。

（4）「大聖寺川流し船」宮長二郎

二度と返らない 30 万円で舟を買い、レトロな電車を待合室にするための移設に 20 万を出した「七人の侍」が、失敗や障碍の連続を乗り越えて年間 3,000 人の乗船を達成した事例を報告。



分科会風景



大聖寺のまちを巡る参加者

2. 開催で得たもの（新しい発見）

「大聖寺の良さを一人でも多くの人に伝えたい」という「歴町センター大聖寺」の活動を振り返り、整理して発表することによって改めて活動の意義を再確認できたこと。



分科会風景

3. 分科会のまとめ

「口出す、汗出す、金も出す」をモットーに、「楽しくやる」「決して無理せず、やれることをやれるところからやれるようにやる」。お役所を頼らず、形や心に残るように活動を積み上げ、実績として評価され、それが自分の生きがいややりがいにつながっていく喜びを味わいたい。百の議論よりも一つの行動が第一歩である。



分科会風景

4. 今後に向けた展開

これまで市民と行政が連携して歴史的景観の保存再生のための活動に取り組んできたが、その成果はまだ十分とは言えず、地域住民の歴史的資産の保存や景観整備に対する意識の高まりや参加意識はまだ

まだ不十分である。

これまでの活動は「この指とまれ」方式でやってきたが、今後はいかに市民への理解を深めていくか「歴町センター大聖寺」がファシリテーターとなって多様な担い手と共に、磨けば光る歴史資産の発見と、市民レベルのまちづくり活動の輪を広げることが課題である。

5. 参加者の声

- 紅葉日和に恵まれ大聖寺の町をゆっくり散策できて良かった。
- 川下り舟に乗ってゆっくりと時間の流れを感じることができた。
- 大聖寺の町屋再生の実情を把握できて良かった。
- 大聖寺のまち起こし活動の熱き息吹に触れて刺激された。
- ボランティアガイドの実際に触れてガイドの学習になった。

(記録者：篠原隆一)



分科会風景



会場は大聖寺の文化スポット「深田久弥 山の文化館」

【第2分科会 アンケート集計結果】

a. 分科会を選んだ理由は何ですか？

- ・ 大聖寺のまちづくりに興味があった。
- ・ 大聖寺のまちに興味があったので。
- ・ 関心が有ったので。
- ・ 城下町・まちづくり・川下りのキーワードから。
- ・ 県の景観大賞で受賞されていて、一度来てみたいと以前から思っていたので。
- ・ スタッフのすすめで。

b. 分科会はどうでしたか？

- ・ おもしろかったです。
- ・ 活発な意見交換で、意味があった。
- ・ 川下りの舟の取り組みが大変おもしろかった。
- ・ 町屋の保存、屋形船がよかった。
- ・ 楽しかったです！・ ざっくばらんに面白い話が聞けて楽しかったです。
- ・ ざっくばらんな雰囲気です、とても楽しかったです。なかなか聞けない失敗例なども聞いたのは、本当に参考になると思いました。
- ・ 改めて説明を受け、大変細かな説明でした。

